

昭和村 橋梁長寿命化修繕計画



新田橋
(令和4年度補修)

令和5年12月

(令和7年12月：一部改訂)

福島県大沼郡昭和村

— 目 次 —

I. 様式1-1

※（ ）は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的 1 2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁 3 3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針 5 （・老朽化対策における基本方針） （・新技術等の活用方針） 4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針 7 （・費用の縮減に関する具体的な方針） 5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期 18 （・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度） （・対策内容・対策の着手、完了予定年度） （・対策に係る全体概算事業費） 6. 長寿命化修繕計画による効果 18 7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者 19	—国土交通省— インフラ長寿命化 基本計画における記載事項 1. 対象施設 2. 計画期間 3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等 5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
---	--

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度 及び対策内容・着手時期又は架替え時期 20	
---	--

III. 優先順位一覧表 22

1. 長寿化修繕計画の目的

1) 昭和村の現状

福島県の会津地方に位置する昭和村は、人口が1,129人（2023年10月26日現在）です。1000m級の山々に囲まれ、面積209.46平方kmの82%を山林が占めています。村中心部の標高が480m程度の高冷地となり、気候は日本海型に属し、特別豪雪地帯に指定されています。

村の中央部には野尻川が流れ、川沿いの狭隘な平地部に耕作地のほか、川に併走する国道400号に沿って集落が形成され、村役場をはじめ主要な公共施設が位置しています。

また、村には国道401号と県道2路線（うち1路線は山間部未開通）が通っていますが、国道401号の博士峠及び新鳥居峠は幅員が狭く急勾配であることから、冬期間は通行止めとなっていました。しかし、令和5年9月に国道401号博士トンネル及び博士峠バイパス道路が開通し、会津若松市方面への冬期通行の確保や緊急医療機関へのアクセスが大幅に向上しました。

村内には、総延長約132.6kmの管理道路が整備され、国県道に通じる生活道路のほか、農耕用の道路として利用されています。村道に架かる橋梁は89橋あり、14.5m以上の32橋のうち19橋が村の中央部を流れる野尻川に架かっています。

村では1巡目点検以降、順次補修等の対策を実施しています。

福島県内市町村位置図



2) 背景

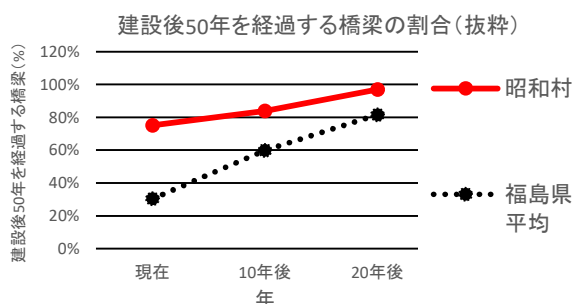
村の管理する橋梁89橋の中で、2023年時点で建設後50年以上経過する橋梁は全体の75%を占めており、10年後の2033年には84%、20年後の2043年には97%と増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法的な維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。

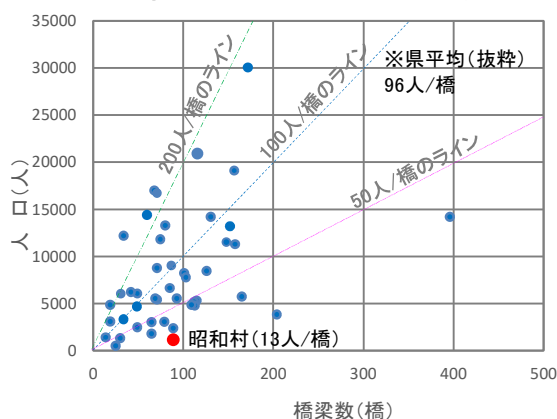
近隣町村との比較

村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
昭和村	209.46	1129	5	89	0.4	13
金山町	293.92	1785	6	65	0.2	27
三島町	90.81	1382	15	14	0.2	99
只見町	747.56	3722	5	204	0.3	18

人口は2023年現在



福島県内市町村(抜粋)の人口と橋梁数の関係

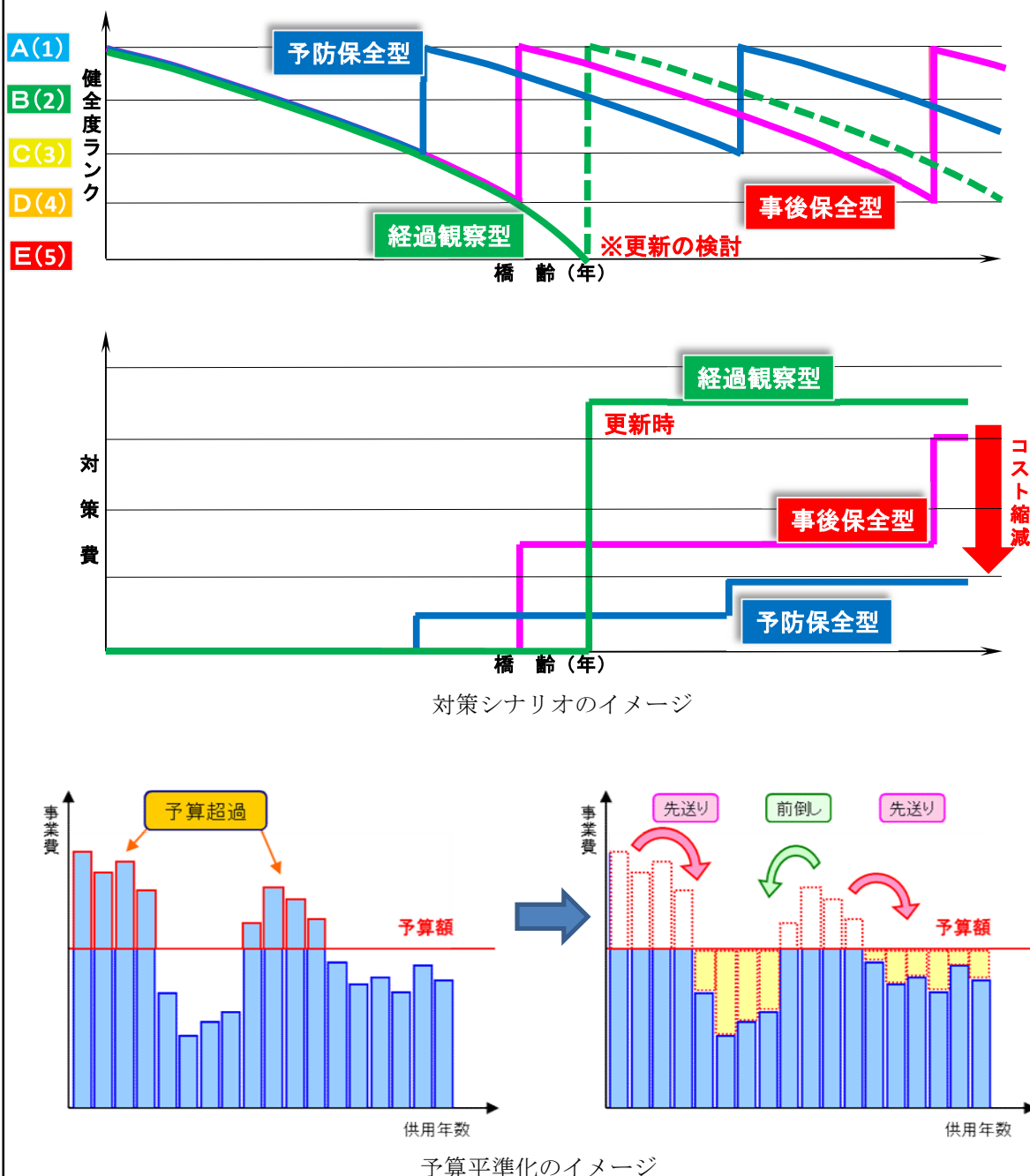


3) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト削減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで昭和村では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

(1. 対象施設)

	村道 1級	村道 2級	村道 その他	合計
全管理橋梁数	6	8	75	89
うち計画の対象橋梁数	6	8	75	89
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち2023年度計画策定橋梁数	6	8	75	89

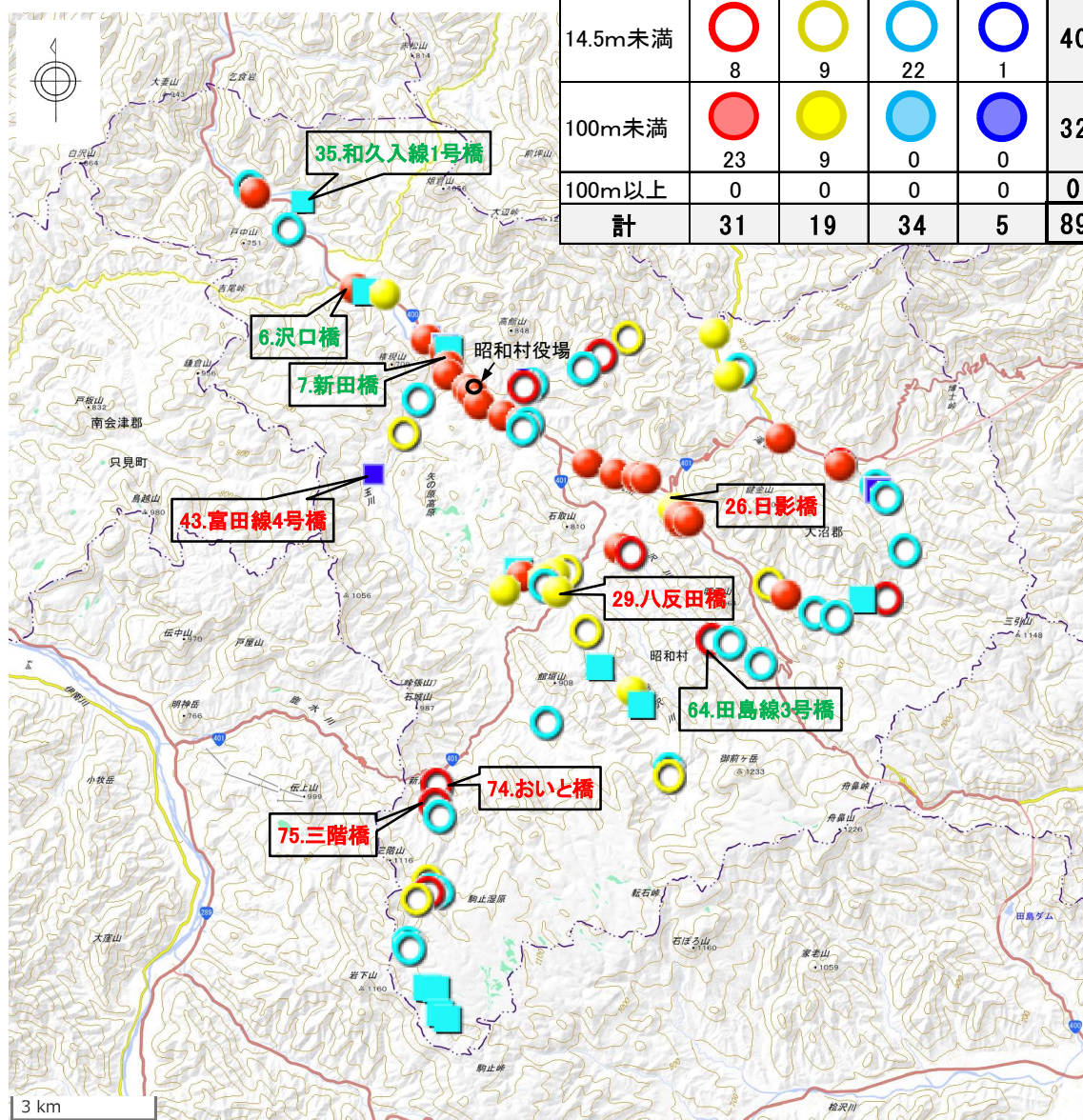
長寿命化修繕計画の対象：昭和村が管理する橋長2.0m以上の橋梁全89橋を対象とします。

※本図は、オープンソフトウェア「地理院マップシート
(国土交通省 国土地理院 地理空間情報部)」を
使用して作成した。

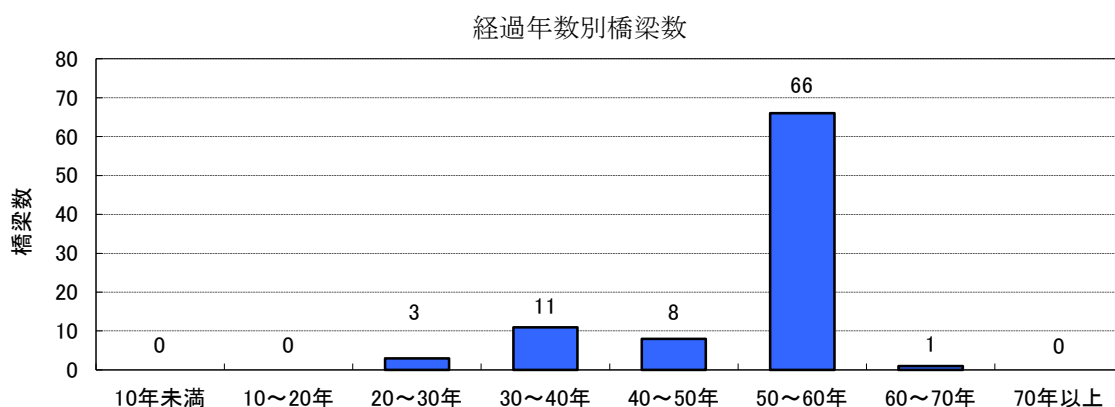
赤字：判定区分Ⅲ(5橋)

緑字：補修済(4橋)

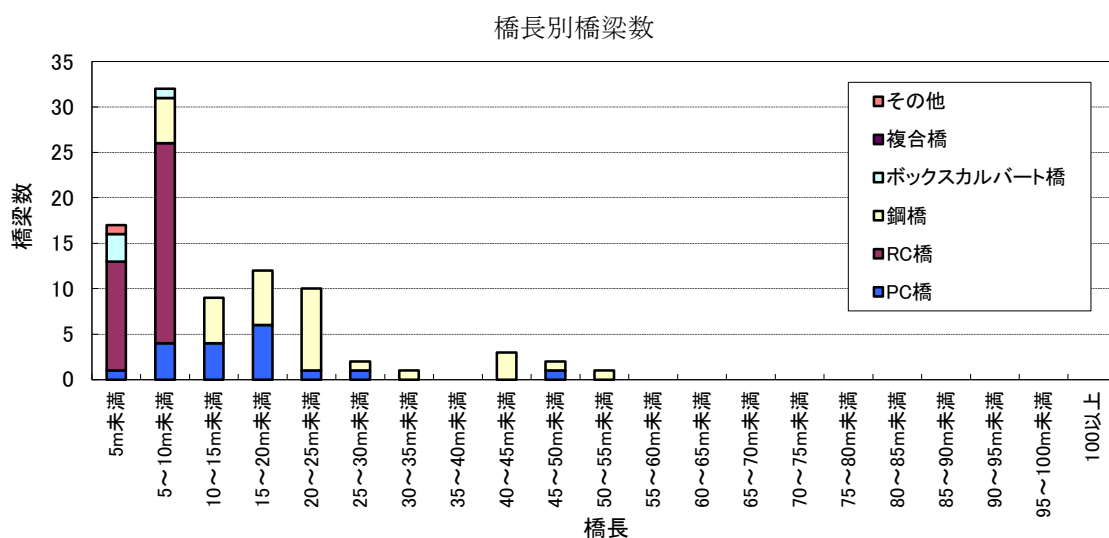
橋種 橋長	鋼橋	PC橋	RC橋	BOX その他	計
5m未満	0	1	12	4	17
14.5m未満	8	9	22	1	40
100m未満	23	9	0	0	32
100m以上	0	0	0	0	0
計	31	19	34	5	89



対象橋梁位置図 (計89橋)

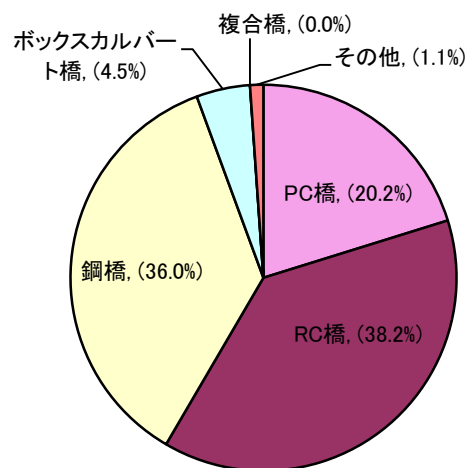


長寿命化修繕計画で対象としている89橋のうち、現時点で建設後50年以上を経過している橋梁は67橋あり、全体の75%を占めています。



長寿命化修繕計画で対象としている89橋のうち、10m未満の橋梁が49橋あり全体の55%を占めています。一方、30m以上の橋梁は7橋あり全体の8%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



上部工使用材料別では、PC橋が19橋で全体の約20%、RC橋が34橋、ボックスカルバート橋が4橋でコンクリート橋が全体の64%を占めています。鋼橋は31橋（35%）となっています。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針 (2. 計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」（平成31年2月）に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

(・新技術等の活用方針)

定期点検では、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。特に2巡目点検において、損傷が無しまたは軽微で、判定区分が[I]となった床版橋や溝橋等の小スパン橋梁については、AI診断等の活用を検討し費用の縮減やとりまとめ作業の効率化に努めていきます。その他、3巡目点検時には、1橋程度について画像解析等の新技術の活用を目指し、検討していきます。

【新技術等の活用に関する短期的な数値目標】

令和9年度までの次回点検時に、前回[I]判定の小規模（橋長5m程度）橋梁2橋程度について、画像解析、AI診断等の新技術を活用し、14万円程度のコスト縮減を目指します。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



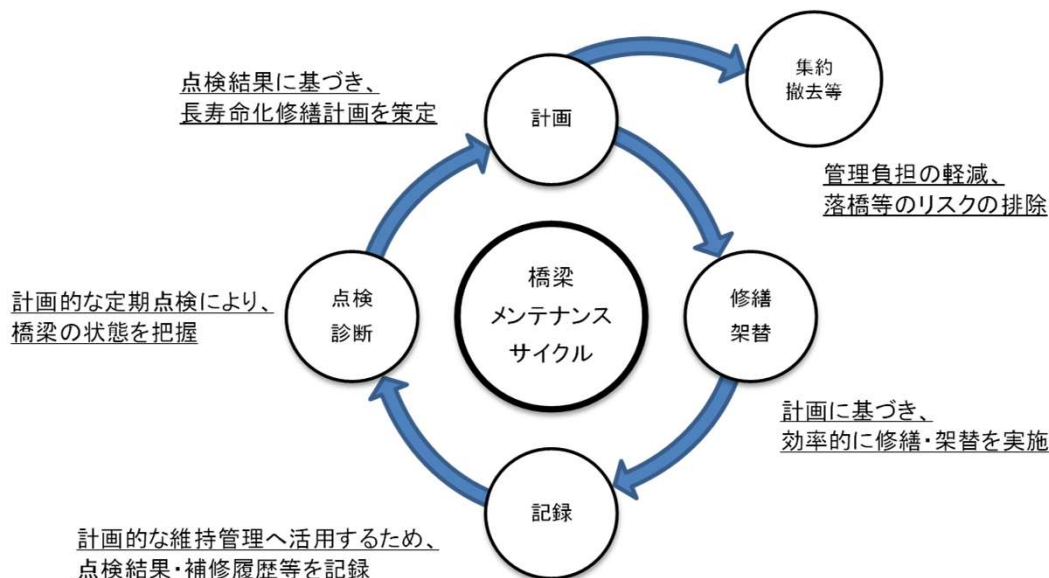
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：（出典）国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、村職員及び委託業者によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図

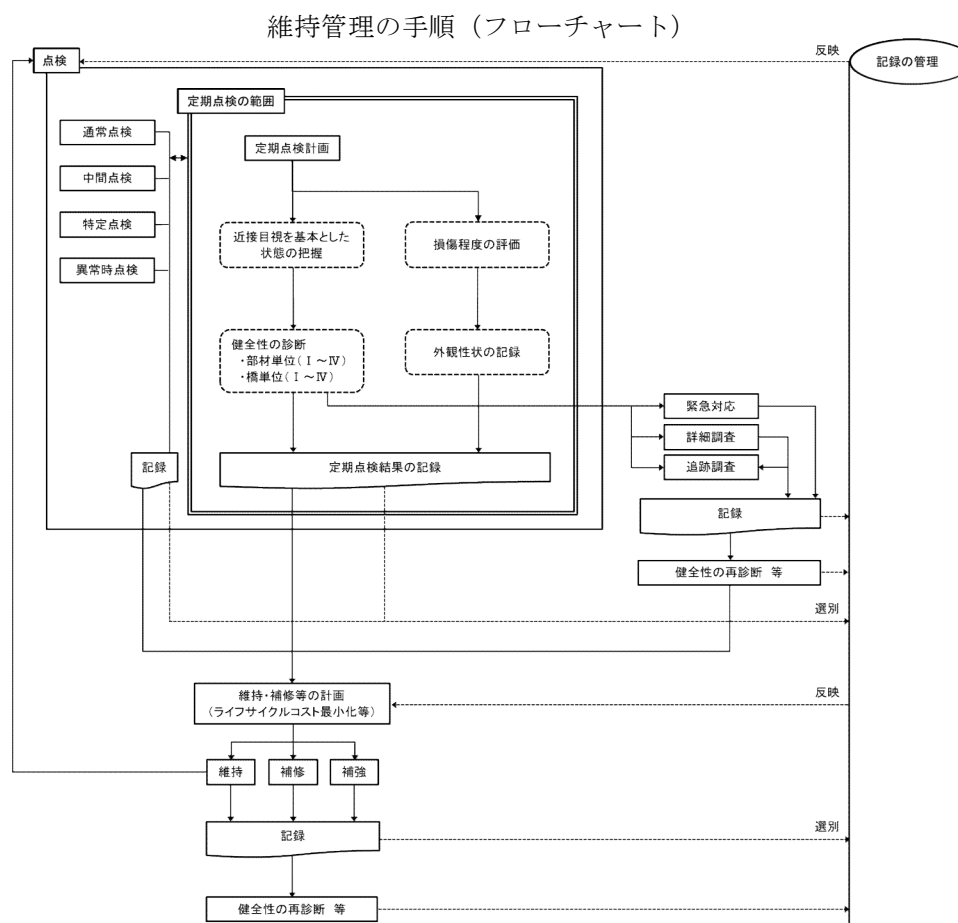


3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。（計画期間：2024年～2073年）

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時で行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針 (3. 対策の優先順位の考え方)

昭和村が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の97%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年以上とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面 洗浄	桁 洗浄
S	本格予防保全型 ・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4)にしない	原則架替えは行わない	○	○	② ※4	②
A	予防保全型 重要度該当2つ	健全度ランクD(4)にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B	事後保全型 重要度該当0または1つ	健全度ランクE(5)にしない	60年	○	○		⑤
C	経過観察型 ・重要度該当0かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5)になるまで	耐用年数まで	○	○		
備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1,2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は橋梁ごとに設定	※2「日常巡回」は、排水溝の清掃及び資産面の堆積土砂除去を実施(費用は計上せず) ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保全費用を橋梁ごとに計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回	

(・費用の縮減に関する具体的な方針)

昭和村の管理橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、損傷程度と健全度、利用状況や代替え路の有無を把握したうえで周辺住民と調整し、橋の撤去・集約も視野に入れた維持管理を行っていきます。

⇒検討橋梁：51.獅子伏2号線1号橋、71.木屋新田線2号橋、79～86.駒止線8～1号橋。

1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁については、対策が必要となった時点でボックスカルバート（溝橋定義外）や横断暗渠への架け替えを検討し、補修費や点検費等の縮減に努めます。

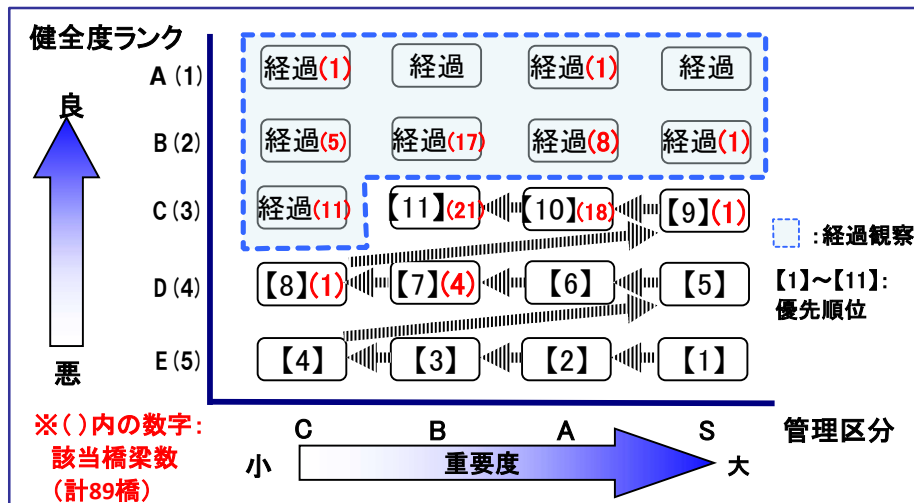
⇒検討橋梁：39.阿久戸3号線1号橋、53.原入線3号橋、63.貸安2号線1号橋。

【集約・撤去に関する短期的な数値目標】

令和15年度までに、1橋程度について撤去を検討し、対応後の点検費等約50万円のコスト縮減を目指します。

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下の図により管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



3) 橋梁毎の点検結果 (4. 個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

昭和村は令和3年度、令和4年度に近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。

定期点検結果一覧
(判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C(3)」以上を抜粋：計56橋/89橋)

順位	番号	橋梁名	橋長 (m)	径間 数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工 年	経過 年	管理 区分	前回 判定 区分	今回 判定 区分	今回 健全度 ランク	部材 種別	損傷種別
1	74	おいと橋	12.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1965	58	B	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	床版、下部工	【設計済】ひびわれ、遊離石灰、うき、欠損
2	75	三階橋	14.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1964	59	B	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	下部工	【設計済】ひびわれ、剥離、遊離石灰、うき、欠損
3	29	八反田橋	16.10	1	PC橋	プレテンT桁	4.00	1984	39	B	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	横桁	【設計済】定着部の異常(鋼材露出)
4	26	日影橋	17.30	1	PC橋	プレテンT桁	3.00	1978	45	B	Ⅲ	Ⅲ	D(4)	横桁	【設計済】定着部の異常(ひびわれ、遊離石灰)
5	43	富田線4号橋	2.40	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.60	1972	51	C	Ⅱ	Ⅲ	D(4)	頂版、側壁	その他(隙間)
6	1	不動橋	18.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	7.00	1978	45	S	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	主桁	遊間の異常
7	3	矢ノ原下橋	31.20	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1970	53	A	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、床版、下部工	遊間の異常、ひびわれ、鉄筋露出、遊離石灰、うき、欠損
8	4	下平橋	48.80	2	PC橋	プレテンT桁	6.75	1985	38	A	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、下部工	剥離、ひびわれ、鉄筋露出、遊離石灰、うき、欠損
9	2	堂の下橋	24.20	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.50	1970	53	A	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	主桁、下部工	遊間の異常、ひびわれ、遊離石灰
10	31	大岐橋	18.90	1	PC橋	プレテンT桁	7.13	1994	29	A	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ、漏れ・遊離石灰
11	48	柳沢線3号橋	8.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.50	1972	51	A	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	主桁	遊間の異常
12	49	柳沢線4号橋	8.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1972	51	A	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ
13	46	柳沢線1号橋	6.60	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.07	1972	51	A	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	床版	ひびわれ、遊離石灰
14	68	大芦線2号橋	2.80	1	RC橋	RC床版橋(その他)	8.00	1972	51	A	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	遊離石灰
15	47	柳沢線2号橋	7.00	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1972	51	A	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	欠損
16	77	駒止線10号橋	10.48	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.60	1963	60	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、床版、下部工	腐食、防食、定着、遊離、ひび、剥離、うき、欠損
17	79	駒止線8号橋	7.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1966	57	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主横桁、床版、下部工	腐食、防食、鉄筋露出、うき、ひびわれ、遊離石灰、欠損
18	9	大沢橋	26.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.82	1971	52	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主横桁、床版、下部工	腐食、遊間異常、ひび、剥離、鉄筋露出、うき、ひびわれ、遊離石灰、変形欠損
19	59	博士橋	8.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1966	57	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	鉄筋露出、うき、ひびわれ、遊離石灰、欠損
20	24	三島橋	20.10	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.60	1970	53	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主横桁、床版	腐食、防食劣化、脱落、ひびわれ、遊離石灰
21	21	阿久戸橋	43.80	2	H型鋼	H形鋼(不明)	2.50	1971	52	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、床版、下部工	腐食、防食劣化、ひびわれ、遊離石灰、うき、欠損
22	11	田ノ口橋	20.70	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.02	1971	52	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、床版	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ、遊離石灰
23	54	木賊平橋	14.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1972	51	B	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	主桁	遊間の異常
24	13	大関橋	15.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.50	1968	55	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、横桁、下部工	腐食、防食劣化、遊間異常、ひびわれ、遊離石灰
25	8	宮前橋	42.66	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.31	1972	51	B	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化
26	67	荒田線1号橋	12.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.06	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	ひびわれ、遊離石灰、欠損
27	15	鍵金橋	15.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.50	1970	53	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、下部工	腐食、防食、遊間、ひび、剥離・鉄筋露出、うき、欠損
28	27	滝ノ岐線1号橋	14.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.01	1977	46	B	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	主桁、下部工	腐食、防食劣化、洗堀
29	53	原入線3号橋	2.50	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.26	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	ひびわれ、剥離、遊離石灰、うき、欠損
30	10	中島橋	23.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1970	53	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化
31	12	新田橋	20.10	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.62	1972	51	B	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	主桁	遊間の異常
32	25	堂の沢橋	19.80	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.02	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁、横桁	腐食、防食機能の劣化
33	65	田島線2号橋	6.40	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1970	53	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	ひびわれ、遊離石灰、欠損
34	70	木屋新田線1号橋	9.44	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	遊離石灰、洗堀
35	78	駒止線9号橋	5.86	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.03	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	ひびわれ、遊離石灰
36	81	駒止線6号橋	5.40	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.60	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	ひびわれ、遊離石灰、欠損
37	16	正法寺橋	23.46	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1971	52	B	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化
38	34	下根平線1号橋	8.10	1	RC橋	RC床版橋(その他)	2.50	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	鉄筋露出、ひびわれ、剥離、遊離石灰、うき
39	55	原入線5号橋	4.90	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ、遊離石灰、補修・補強材の損傷
40	76	駒止線11号橋	5.40	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.03	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版	ひびわれ、遊離石灰
41	14	沼田橋	20.20	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.52	1972	51	B	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化
42	80	駒止線7号橋	10.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	3.60	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁	腐食、防食機能の劣化、定着部の異常
43	41	富田線2号橋	6.60	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.45	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	補強材の損傷(腐食、防食機能の劣化)
44	51	獅子伏2号線1号橋	5.90	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.00	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	剥離、洗堀
45	82	駒止線5号橋	5.40	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.59	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	欠損
46	33	卵池橋	5.00	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.60	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	欠損
47	17	下赤田橋	19.60	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	1985	38	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	主桁	ひびわれ
48	56	原入線6号橋	5.50	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.90	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	ひびわれ、鉄筋露出、遊離石灰、欠損
49	61	滝ノ岐線3号橋	5.50	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	欠損
50	60	滝ノ岐線2号橋	5.40	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1972	51	B	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	欠損
51	83	駒止線4号橋	4.30	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.60	1972	51	C	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	ひびわれ、遊離石灰、うき、欠損
52	84	駒止線3号橋	4.30	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.58	1972	51	C	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	床版、下部工	ひびわれ、鉄筋露出、遊離石灰、うき、欠損、その他(空洞)、洗堀
53	35	和久入線1号橋	4.26	1	PC橋	プレテンT桁	3.77	1972	51	C	Ⅲ	Ⅱ	C(3)	主桁、横桁	【下部工補修済】鉄筋露出、欠損、腐食、防食劣化
54	37	気多淵線1号橋	4.88	1	木橋	その他(木橋)	2.26	1972	51	C	Ⅰ	Ⅱ	C(3)	主桁	腐朽(木材)
55	85	駒止線2号橋	3.10	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.60	1972	51	C	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	欠損
56	86	駒止線1号橋	3.30	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.60	1982	41	C	Ⅱ	Ⅱ	C(3)	下部工	欠損

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係（計89橋）

区 分		状 態	健全度 ランク	判定区分	備 考	該当 橋梁数	割 合	
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態		A (1)	健全	損傷が認められない	2橋	2%
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		B (2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	31橋	35%
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態		C (3)	状況に応じ 早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	51橋	57%
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき状態		D (4)	早急に補修 必要	速やかに補修を行う必要がある	5橋	6%
				E (5)	緊急対応の 必要	緊急対策の必要がある	0橋	0%

4）主要部材の損傷状況及び対策優先度の考え方について（4. 個別施設の状態等）

4－1）判定区分[Ⅲ]・健全度[D(4)]の橋梁（1/2）

以下の5橋梁については、構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期措置段階に位置づけられるため、以下の優先順位で補修対策を行っていきます。



橋梁左側



端横桁定着部の遊離石灰の析出

【1位(当初4位)】**26. 日影橋**：PCT桁橋、橋長：17.40m、1978年竣工（45年経過）。

村道両原下日影線（迂回路無し）。

端横桁の定着部に遊離石灰の析出が確認された。内部鋼材の腐食の進行は耐荷力低下に影響するため、詳細調査が必要（判定区分[Ⅲ]）。

令和2年度補修設計済、令和6年度補修工事予定。

本橋は両原集落及び国道400号線に近く、1級河川野尻川に架かり農地及び関連施設へ至る連絡路として地域住民にとって必要な橋梁であり、特に迂回路が無い場合最優先で対策を行います。



橋梁右側



端横桁定着部の横締め鋼材露出

【2位(当初3位)】**29. 八反田橋**：PCT桁橋、橋長：16.10m、1984年竣工（39年経過）。

村道大芦八反田線（迂回路有り）。

端横桁の定着部に横締め鋼材の露出が確認された。鋼材の腐食の進行は耐荷力低下に影響するため、詳細調査が必要（判定区分[Ⅲ]）。令和2年度補修設計済。

本橋は大芦集落及び国道401号線に近く、畑沢川に架かり農地及び関連施設へ至る主要な連絡路として地域住民にとって必要な橋梁であるため、日影橋に次いで優先的に対策を行います。

4-1) 判定区分[Ⅲ]・健全度[D(4)]の橋梁 (2/2)



橋梁右側

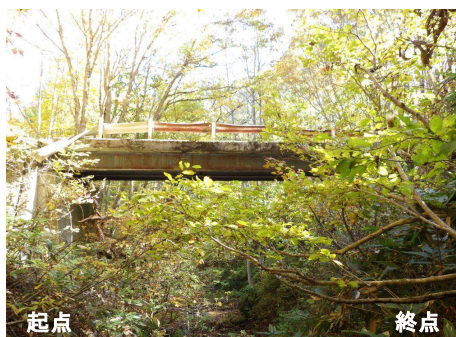


床版下面の錆汁・遊離石灰を伴う二方向ひびわれ

【3位(当初1位)】74. おいと橋：鋼H桁橋，橋長：12.40m，1965年竣工(58年経過)。

村道大芦駒止線(迂回路無し)。

床版下面に錆汁・遊離石灰を伴う二方向ひびわれが確認された。内部鉄筋の腐食進行は耐荷力の低下に影響する(判定区分[Ⅲ])。令和3年度補修設計済。



橋梁右側



A1橋台の遊離石灰を伴うひびわれ、剥離、うき、欠損

【4位(当初2位)】75. 三階橋：鋼H桁橋，橋長：14.40m，1964年竣工(59年経過)

村道大芦駒止線(迂回路無し)。

下部工に遊離石灰を伴うひびわれ、剥離、うき、欠損が確認された。凍結融解の繰り返しにより主桁の脱落へと進展する(判定区分[Ⅲ])。令和4・5年度設計済。

おいと橋、三階橋が位置する大芦駒止線は、終点側が通行止めとなっており、当面復旧の見込みがなく、利用者がいないことから、対策の優先度は上記2橋の下位としますが、駒止湿原への登山ルートとなる大芦駒止舟鼻1号線に接続する路線でもあるため、起点側(国道401号側)からおいと橋、三階橋の順で対策を行います。



橋梁左側(下流側躯体崩落後、根固として応急利用)



頂版目地部の移動による隙間



目地部を連結プレートで固定

【5位(当初5位)】43. 富田線4号橋：ボックスカルバート橋，橋長：2.40m，

1972年竣工(51年経過)。村道下中津川富田線(迂回路無し)。

頂版目地部に下流側への移動による隙間が確認された。経過年数に伴い躯体の崩落へと進展する可能性が高い(判定区分[Ⅲ])。現在応急対策済み(目地部を連結プレートで固定、下流側の崩落した躯体を根固めとして利用)。

本橋の位置する路線は利用者が少なく、経過観察型であることから、対策の優先度は下位とします(対応方針検討中)。

4-2) 橋梁の補修工事状況

昭和村では、1巡目の定期点検結果において早期対策が必要な判定区分「Ⅲ」と診断された橋梁のうち4橋について、橋梁の延命化及び安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るために、令和4年度までに補修工事を実施し、2巡目の定期点検により健全度の改善を確認しました。



橋梁左側(補修後)



桁下面起点側(補修後)



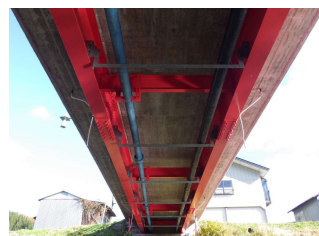
橋面終点側から(補修後)

6. 沢口橋：鋼H桁橋，橋長：47.50m，1964年竣工(59年経過)，村道中向山1号線(迂回路有り)。

令和4年度補修工事完了(判定区分[Ⅲ]⇒[Ⅰ])。床版([Ⅲ]⇒[Ⅰ])：橋面防水・表面含浸・断面修復工。主・横桁：塗替塗装・桁端切断工。下部工：断面修復・表面含浸工。支承：塗替塗装・沓座モルタル打替。防護柵取替、地覆打替、伸縮装置設置、舗装打換、排水管設置。



橋梁右側(補修後)



桁下面起点側(補修後)



橋面起点側から(補修後)

7. 新田橋：鋼H桁橋，橋長：42.60m，1970年竣工(53年経過)，村道下中津川富田線(迂回路有り)。

令和4年度補修工事完了(判定区分[Ⅲ]⇒[Ⅰ])。床版([Ⅲ]⇒[Ⅰ])：橋面防水・表面含浸・断面修復工。主桁：塗替塗装・桁端切断工。下部工：断面修復・表面含浸工。支承：塗替塗装・沓座モルタル打替。防護柵取替、地覆打替、伸縮装置設置、舗装打換、排水管設置。



橋梁左側(水路新設)



下部工01(水路新設)



桁下面終点側(未補修)

35. 和久入線1号橋：PCT桁橋，橋長：4.26m，1972年竣工(51年経過)，村道野尻和久入線(迂回路無し)。下部工補修完了(判定区分[Ⅲ]⇒[Ⅱ])。下部工01([Ⅲ]⇒[Ⅰ])：基礎洗堀部に水路新設。上部工の損傷(鉄筋露出、欠損、横締め鋼材腐食)は未補修([Ⅱ])。



橋梁右側(補修後)



桁下面終点側(補修後)



起点側から(補修後)

64. 田島線3号橋：鋼H桁橋，橋長：8.50m，1972年竣工(51年経過)，村道大芦田島線(迂回路無し)。

令和5年度補修工事完了(判定区分[Ⅲ]⇒[Ⅰ])。主桁([Ⅲ]⇒[Ⅰ])：塗替塗装工。床版：橋面防水・表面含浸工。下部工：断面修復工(洗堀部)。支承([Ⅲ]⇒[Ⅰ])：塗替塗装工。防護柵取替、地覆打替、伸縮装置取替、舗装打換、排水管設置。

5) 長寿命化修繕計画上の寿命設定について

管理区分[B](事後保全型)の橋梁は、管理区分設定の条件となる重要度指標項目が0または1つである橋梁と定義され、**計画上の寿命設定(計画寿命)を60年**としています。

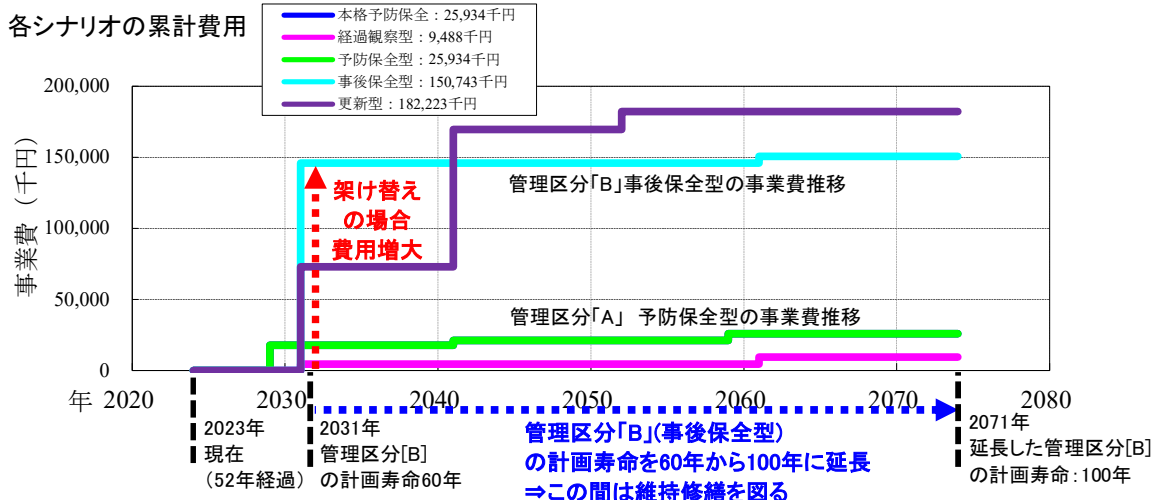
昭和村における管理区分[B]の橋梁計62橋のうち、供用後50年以上を経過している橋梁は47橋あり、10年以内に計画寿命を迎えるため、計画上是「更新(架け替え)」が必要となり、費用が増大することになります。しかし、上記47橋のうち45橋における定期点検の判定区分は[I]または[II]であり、当面は60年を超えて供用可能と考えられます。

上記を考慮し、**管理区分[B]の計画寿命を60年から100年に延長して設定**し、また、この変更と併せて、**管理区分[A](予防保全型)の計画寿命を100年から150年に延長して設定**しました。

(下図の21.阿久戸橋の例参照)

21.阿久戸橋の事業費の推移

鋼H桁橋、橋長:43.80m、1971年竣工(52年経過)、管理区分[B]、判定区分[II]



6) 管理区分の変更について

管理区分[B](事後保全型)の橋梁において、緊急輸送路、公共添架管有り、2径間、主要施設に連絡し迂回困難、集落間を結び利用者が多い、と考えられる以下の15橋梁は、今後も重点的な維持管理が必要な橋梁であるため、**管理区分[A](予防保全型)に変更**し、予防保全型の維持管理を行って延命化・LCCの縮減を図ります。

【管理区分[A](予防保全型)に変更する橋梁(計15橋:当初管理区分[B])】

(緊:緊急輸送路、添:添架管有り、2:2径間、施:主要施設に連絡、集:集落間連絡)

- ・判定区分[II]・健全度[C(3)]:9橋。59.博士橋(緊,添)、21.阿久戸橋(2,集)、54.木賊平橋(緊,添)、8.宮前橋(緊,2,集)、53.原入線3号橋(緊,添)、10.中島橋(施)、16.正法寺橋(施)、55.原入線5号橋(緊,添)、56.原入線6号橋(緊,添)。
- ・判定区分[I]・健全度[B(2)]:5橋。5.常盤橋(2,集)、57.原入線7号橋(緊,添)、7.新田橋(2,集)、23.根堀場橋(緊,集)、58.原入線8号橋(緊,添)。
- ・判定区分[I]・健全度[A(1)]:1橋。52.日落沢橋(緊,添)。



8.宮前橋 (判定区分[II])

鋼H桁橋、橋長:42.66m、2径間、1972年竣工(51年経過)。村道下中津川宮前新田線。緊急輸送路一次確保路線。野尻川に架かり集落・農地間を結ぶ。国道400号に連絡する。



10.中島橋 (判定区分[II])

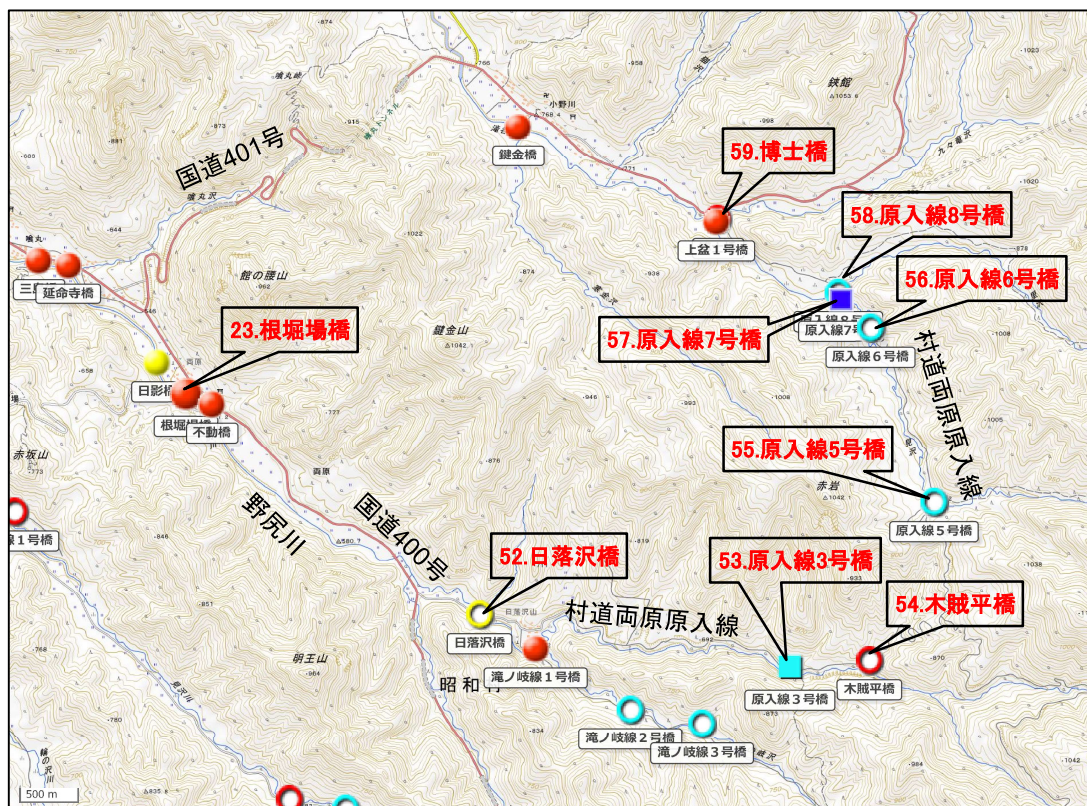
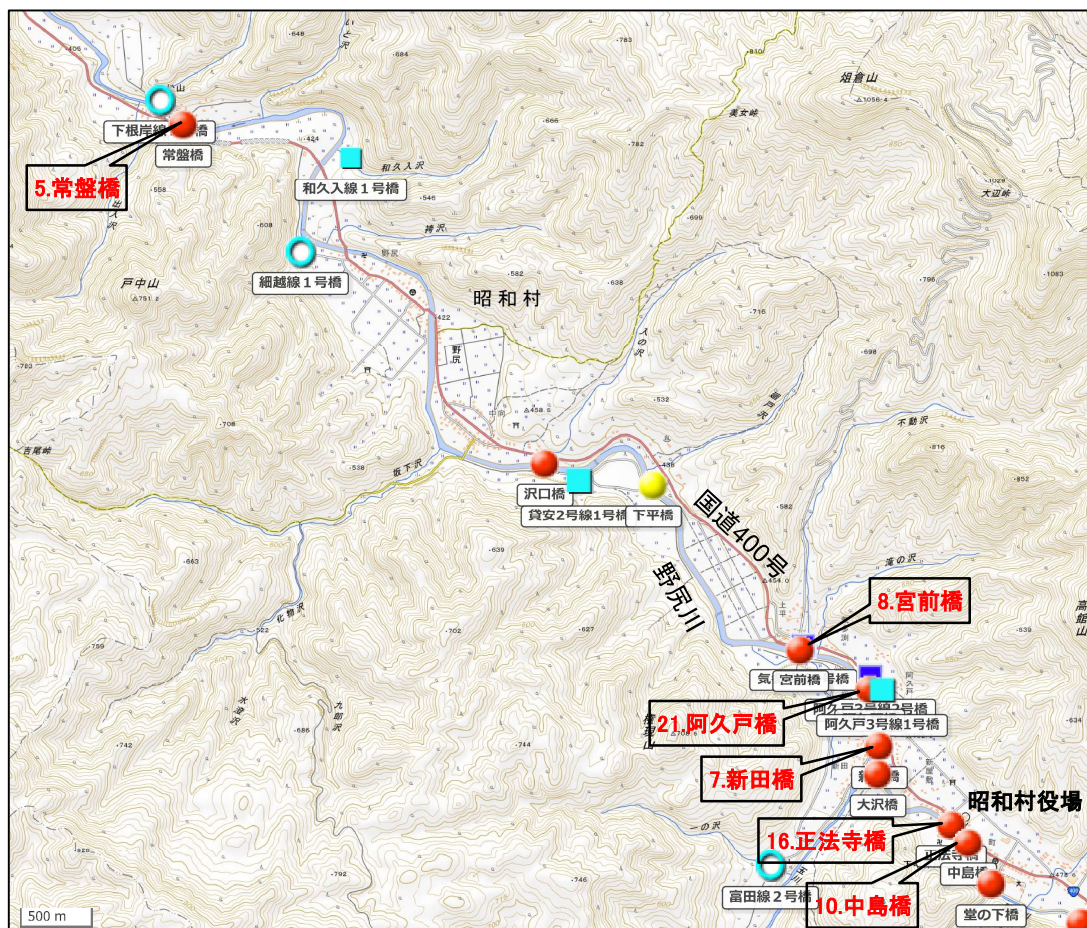
鋼H桁橋、橋長:23.40m、1970年竣工(53年経過)。村道下中津川中学校線。野尻川を跨ぎ、中島集落及び国道400号と対岸の村立昭和中学校を連絡する。迂回困難。



56.原入線6号橋 (判定区分[II])

RC床版橋、橋長:5.50m、1972年竣工(51年経過)。村道両原原入線。緊急輸送路一次確保路線。国道400号と401号を連絡する。迂回路は遠距離となる。公共添架管有り。

管理区分[B](事後保全型)から管理区分[A](予防保全型)に変更する橋梁(抜粋)



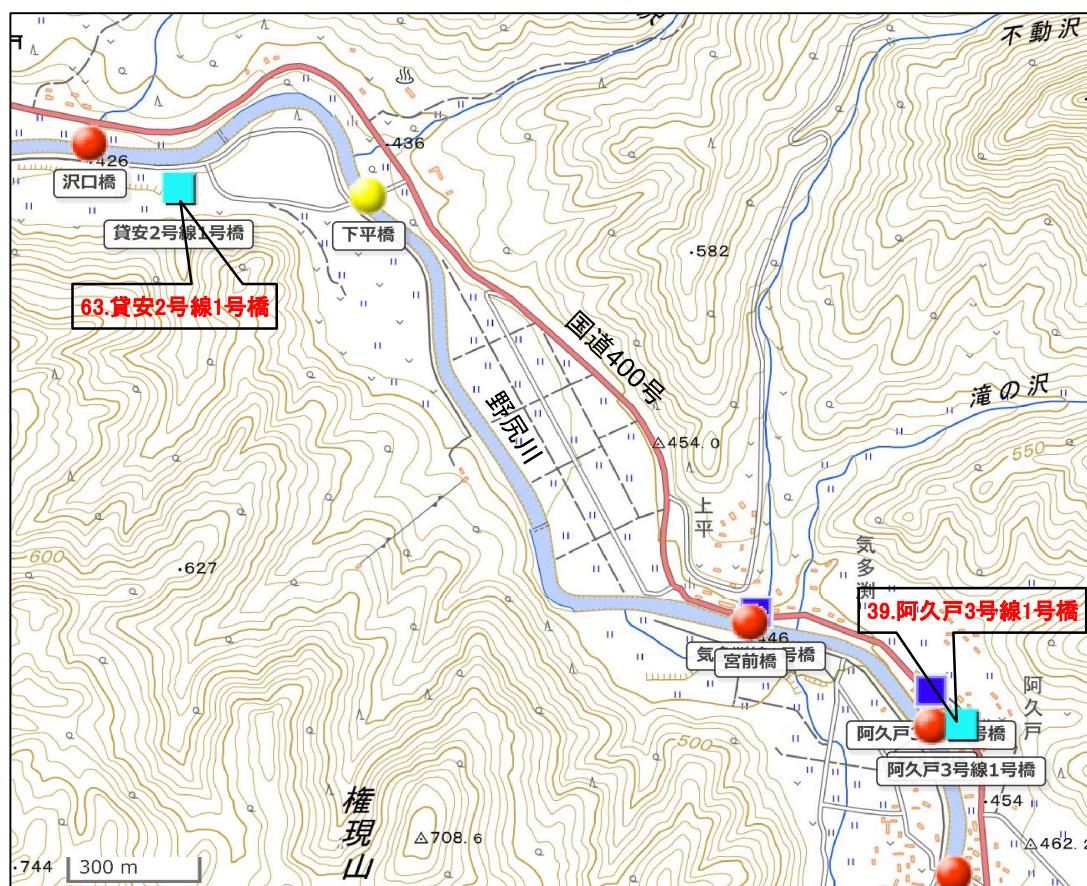
管理区分[B]から管理区分[A]に変更する橋梁（15橋）

7) 撤去・集約化、費用縮減に関する計画について

以下の13橋は、対策が必要となるタイミングで、撤去（管理外化）・集約に係る対応を行い、補修費用及び架け替え後の管理費用の削減を図ります。

7-1) 架け替えのタイミングで溝橋定義外のボックスカルバート化（2橋）

39. 阿久戸3号線1号橋、63. 貸安2号線1号橋は、小規模なRC床版橋であり、対策が必要となった段階で、溝橋定義外のボックスカルバートに架け替えを行うことを前提に、経過観察（管理区分[C]・経過観察型）を行い維持管理費用の削減を図ります。



39. 阿久戸3号線1号橋

判定区分[I]・健全度[B(2)]
管理区分[C] (経過観察型)
RC床版橋、橋長:2.30m
1972年竣工(51年経過)
村道下中津川阿久戸3号線
水路天端内幅:1.9m
水路下面内幅:1.0m。



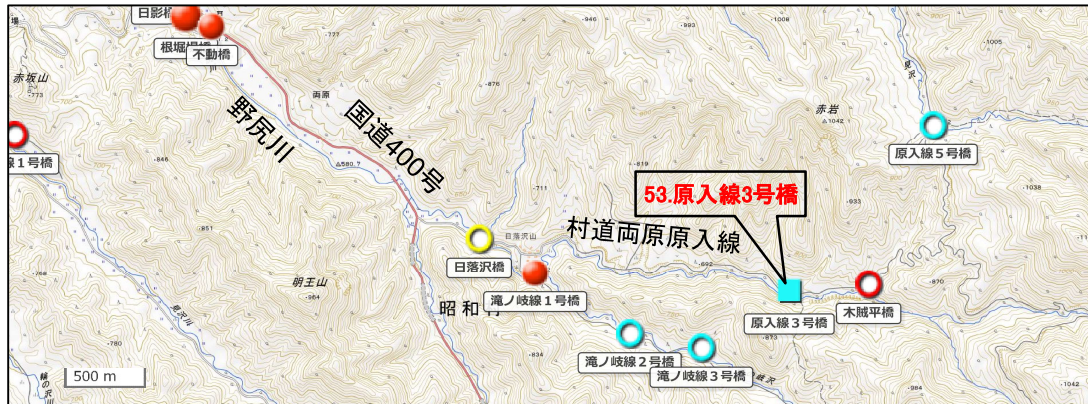
63. 貸安2号線1号橋

判定区分[I]・健全度[A(1)]
管理区分[C] (経過観察型)
RC床版橋、橋長:2.20m
1972年竣工(51年経過)
村道中向貸安2号線
水路天端内幅:1.7m
水路下面内幅:1.4m。

溝橋定義外のボックスカルバート化を検討する2橋

7-2) 予防保全措置として溝橋定義外のボックスカルバート化 (1橋)

53. 原入線3号橋は、小規模なRC床版橋であり、前述**6)**の通り緊急輸送路の両原原入線に位置することを考慮し、同路線の他橋梁と併せて管理区分[A](予防保全型)に変更し、予防保全型の維持管理のタイミングで溝橋定義外のボックスカルバートに架け替えを行い、維持管理費用の削減を図ります。



起点側



右側



A2橋台ひびわれ、遊離石灰、うき、欠損

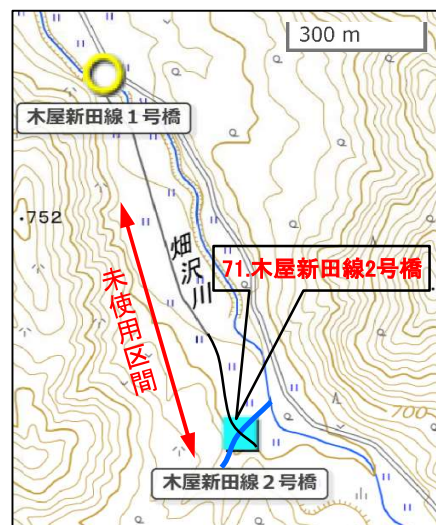
53. 原入線3号橋 判定区分[Ⅱ]・健全度[C(3)]：管理区分[B]⇒[A] (予防保全型に変更)

RC床版橋、橋長:2.50m、1972年竣工(51年経過)、村道両原原入線。水路内幅:2.0m。
緊急輸送路一次確保路線。国道400号と401号を連絡する。迂回路は遠距離となる。

予防保全措置として溝橋定義外のボックスカルバート化を検討する1橋

7-3) 架け替えのタイミングで撤去・管理外化等を検討 (2橋)

51. 獅子伏2号線1号橋、**71. 木屋新田線2号橋**は、利用者が著しく減少している橋梁と考えられるため、対策が必要となった段階で、村が地域住民との合意形成の上で撤去・管理外化の方針を検討し、維持管理費用の削減を図ります。



撤去・管理外化を検討する2橋(1/2)



起点



起点

終点



終点

51. 獅子伏2号線1号橋 判定区分[Ⅱ]・健全度[C(3)]：管理区分[B]⇒[C] (経過観察型に変更)
RC床版橋, 橋長: 5.90m, 1972年竣工 (51年経過), 村道小中津川獅子伏2号線。
国道400号に隣接している。橋面には雑草が生い茂っており、利用者はいないと考えられる。



起点



終点

起点



終点

71. 木屋新田線2号橋 判定区分[Ⅰ]・健全度[B(2)]：管理区分[C] (経過観察型)

RC床版橋, 橋長: 2.15m, 1984年竣工 (39年経過), 村道大芦木屋新田線。

70. 木屋新田線1号橋から終点側の本橋を含む区間は樹木や草が繁茂し未使用区間となっている。

撤去・管理外化を検討する2橋(2/2)

7-4) 通行止め区間。架け替えのタイミングで撤去・管理外化等を検討 (8橋)

79. 駒止線8号橋、80. 駒止線7号橋、81. 駒止線6号橋、82. 駒止線5号橋、83. 駒止線4号橋、84. 駒止線3号橋、85. 駒止線2号橋、86. 駒止線1号橋。

村道大芦駒止線の駒止線8号橋から終点方向の駒止線1号橋までの上記8橋を含む区間は、急峻な山間部の溪流沿いで路面の浸食が著しく、通行に支障が生じているため通行止めとなっており、当面復旧の見込みがなく、利用者がいない状況となっています。また、該当する橋梁はいずれも架設から40～60年程度経過し損傷が進行しています (現状は判定区分[Ⅱ])。

利用者が著しく減少していると考えられるため、対策が必要となった段階で村が地域住民との合意形成の上で撤去・管理外化の方針を検討し、維持管理費用の削減を図ります。



起点側



起点

終点

右側



床版の鉄筋露出

79. 駒止線8号橋 判定区分[Ⅱ]・健全度[C(3)]：管理区分[B]⇒[C] (経過観察型に変更)
鋼H桁橋, 橋長: 7.40m, 1966年竣工 (57年経過), 村道大芦駒止線。通行止め区間の最起点側橋梁。



起点側



起点

終点

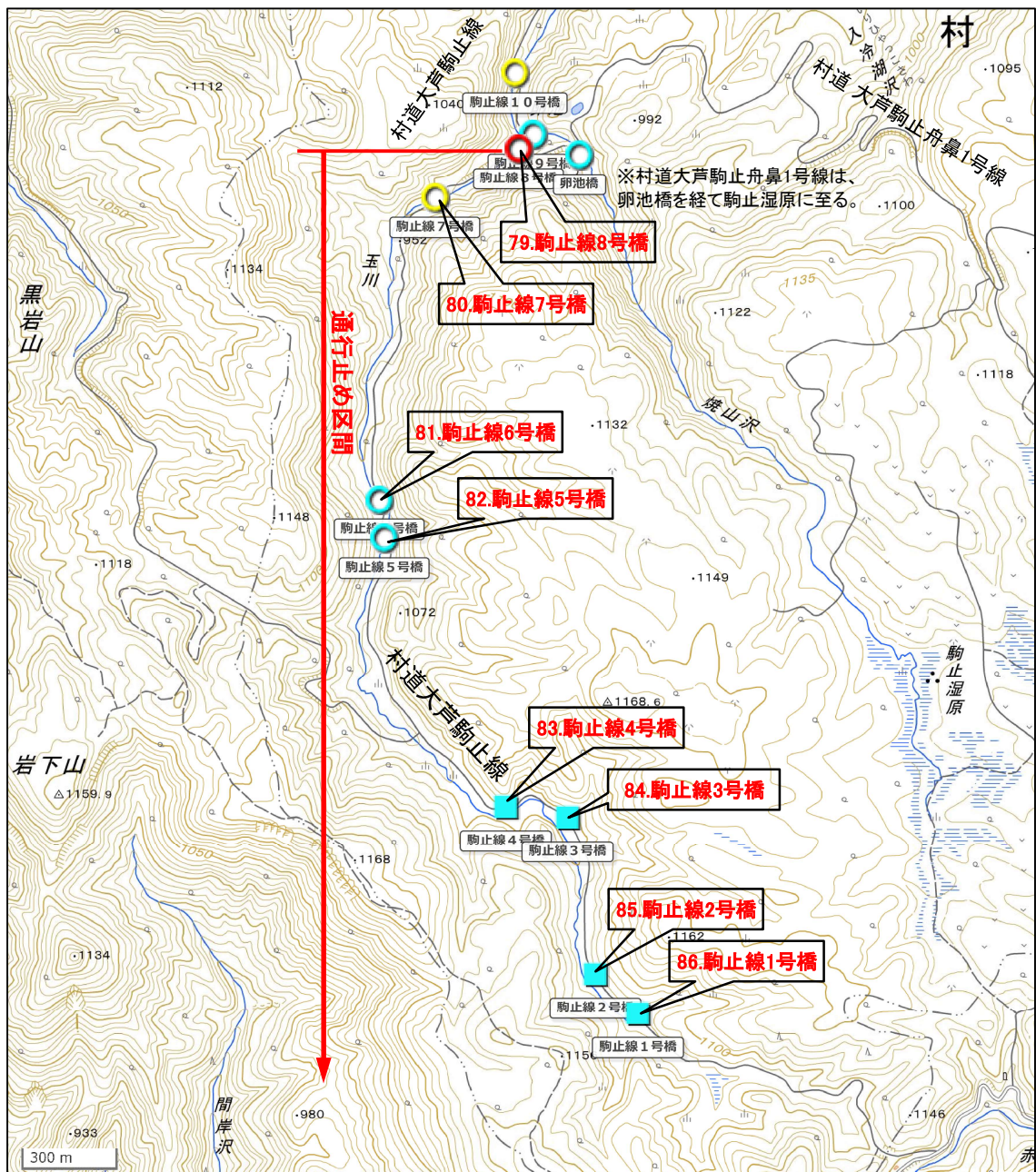
右側



A2橋台の欠損(浸食)

86. 駒止線1号橋 判定区分[Ⅱ]・健全度[C(3)]：管理区分[C] (経過観察型)
RC床版橋, 橋長: 3.30m, 1982年竣工 (41年経過), 村道大芦駒止線。通行止め区間の最終点側橋梁。

通行止め区間であり撤去・管理外化を検討する橋梁 (抜粋)



通行止め区間であり撤去・管理外化を検討する8橋

9) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期（5. 対策内容と実施時期）
 （・構造物の諸元、直近の点検結果及び次回点検年度）
 （・対策内容、対策の着手・完了予定年度）
 （・対策に係る全体概算事業費）（6. 対策費用）

様式1-2に、直近10年間の概ねの計画を示します。

補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。

【活用促進技術に指定されている新技術の例】

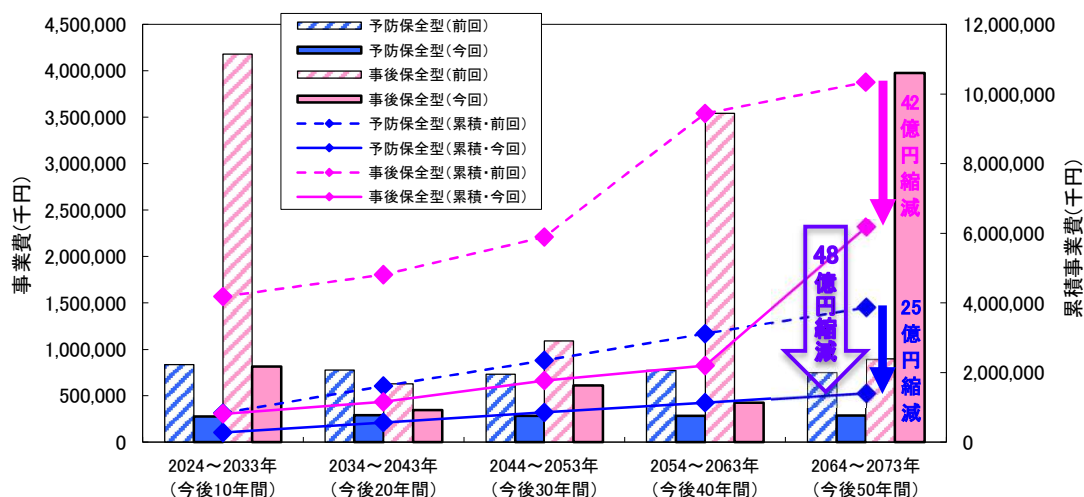
- 鋼部材の塗装（鍍転換型防食塗装）。
- コンクリート部材の補修（断面修復工、表面含浸工）。
- 伸縮装置の止水・漏水対策、取替。

様式1-2、優先順位一覧表に概算の事業費を示します。

6. 長寿命化修繕計画による効果

昭和村が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間の予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

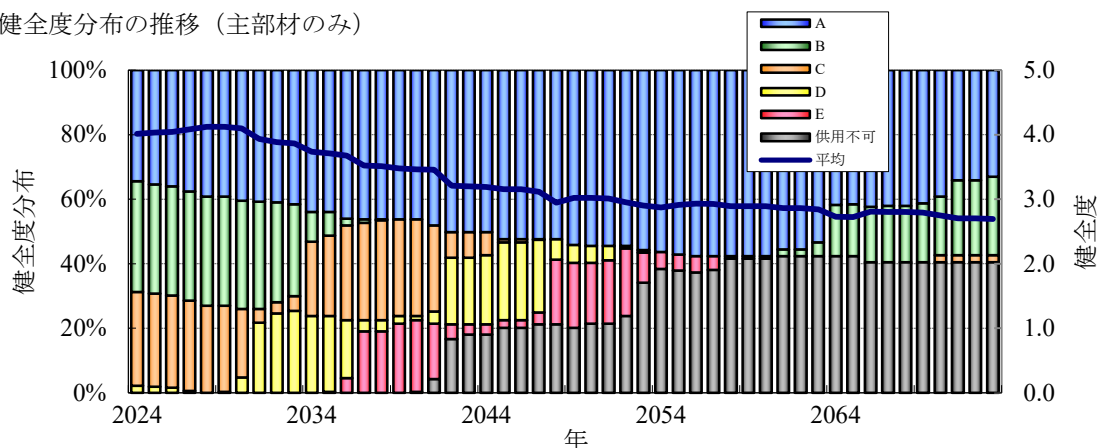
長寿命化修繕計画を策定する89橋について、年間の予算制約額を0.30億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型（対症療法型）が62億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が14億円となり、コスト縮減効果は48億円（77%減）となります。



※前回計画策定時の事業費は、前回の直接工事費に対し今回と同じ諸経費率を適用して試算した。
 前回から部材単価の上昇、健全度の変化等も生じているため単純な比較・評価には注意を要する。

また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

健全度分布の推移（主部材のみ）



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署
昭和村 産業建設課 tel:0241-57-2123

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

【様式1－2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（直近10年間）

年間予算額：0.30億円

凡例： ←→ 対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										合計(千円) ※
								R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	
日影橋	その他	両原下日影線	17.3	1978	46	R4	Ⅲ	←→			点検							12,901
八反田橋	その他	大芦八反田線	16.1	1984	40	R4	Ⅲ	主部材：表面被覆&足場	←→		点検					点検		19,114
おいと橋	その他	大芦駒止線	12.4	1965	59	R4	Ⅲ		主部材：表面被覆&足場	←→	点検					点検		47,124
三階橋	その他	大芦駒止線	14.4	1964	60	R4	Ⅲ			主部材：3種ケレン&塗装&足場	←→	点検				点検		11,801
富田線4号橋	その他	下中津川富田線	2.4	1972	52	R4	Ⅲ				点検	←→				点検		15,244
不動橋	1級	赤坂線	18.4	1978	46	R4	Ⅱ				点検		←→			点検		35,244
矢ノ原下橋	2級	下中津川大芦線	31.2	1970	54	R4	Ⅱ				点検			←→		点検		22,702
下平橋	2級	中向下平線	48.8	1985	39	R4	Ⅱ				点検				←→	点検		83,337
堂の下橋	2級	下中津川大芦線	24.2	1970	54	R4	Ⅱ				点検					主部材：ひび割れ補修 等	点検	
大岐橋	1級	柳沢線	18.9	1994	30	R4	Ⅱ				点検					点検		
博士橋	その他	両原原線	8.4	1966	58	R4	Ⅱ				点検	←→				点検		14,606
阿久戸橋	その他	下中津川阿久戸1号線	43.8	1971	53	R4	Ⅱ				点検					点検		
木賊平橋	その他	両原原線	14.4	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
柳沢線3号橋	1級	柳沢線	8.4	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
柳沢線4号橋	1級	柳沢線	8.4	1972	52	R4	Ⅱ	←→			点検					←→	点検	7,378
宮前橋	その他	下中津川宮前新田線	42.66	1972	52	R4	Ⅱ	橋台：ひび割れ補修 等			点検					橋台：ひび割れ補修 等	点検	
柳沢線1号橋	1級	柳沢線	6.6	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
原入線3号橋	その他	両原原線	2.5	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
中島橋	その他	下中津川中学校線	23.4	1970	54	R4	Ⅱ				点検					点検		
大芦線2号橋	2級	下中津川大芦線	2.8	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
正法寺橋	その他	下中津川正法寺線	23.46	1971	53	R4	Ⅱ				点検					点検		
原入線5号橋	その他	両原原線	4.9	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
柳沢線2号橋	1級	柳沢線	7	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
原入線6号橋	その他	両原原線	5.5	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
駒止線10号橋	その他	大芦駒止線	10.48	1963	61	R4	Ⅱ				点検					点検		
大沢橋	その他	下中津川大沢線	26.4	1971	53	R4	Ⅱ				点検					点検		
三島橋	その他	喰丸小矢ノ原線	20.1	1970	54	R4	Ⅱ				点検					点検		
田ノ口橋	その他	小中津川田ノ口線	20.7	1971	53	R4	Ⅱ				点検					点検		
大関橋	その他	大芦田島線	15.4	1968	56	R4	Ⅱ				点検					点検		
荒田線1号橋	その他	大芦荒田線	12.4	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
鍵金橋	その他	小野川寒金線	15.4	1970	54	R4	Ⅱ				点検					点検		
滝ノ岐線1号橋	その他	両原滝ノ岐線	14.5	1977	47	R4	Ⅱ				点検					点検		
新田橋	その他	佐倉喰丸線	20.1	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
堂の沢橋	その他	小中津川堂ノ沢向線	19.8	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
田島線2号橋	その他	大芦田島線	6.4	1970	54	R4	Ⅱ				点検					点検		
木屋新田線1号橋	その他	大芦木屋新田線	9.44	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
駒止線9号橋	その他	大芦駒止線	5.86	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
下根岸線1号橋	その他	松山下根岸線	8.1	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
駒止線11号橋	その他	大芦駒止線	5.4	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
沼田橋	その他	佐倉喰丸線	20.2	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
富田線2号橋	その他	下中津川富田線	6.6	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
卵池橋	その他	大芦駒止舟鼻1号線	5	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
下赤田橋	その他	大芦中組赤田線	19.6	1985	39	R4	Ⅱ				点検					点検		
滝ノ岐線3号橋	その他	両原滝ノ岐線	5.5	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		
滝ノ岐線2号橋	その他	両原滝ノ岐線	5.4	1972	52	R4	Ⅱ				点検					点検		

年間予算額：0.30億円

凡例： ←→

対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	最新 点検 結果	対策の内容・時期															合計 (千円) ※
								R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033						
駒止線8号橋	その他	大芦駒止線	7.4	1966	58	R4	Ⅱ					点検					点検						
駒止線6号橋	その他	大芦駒止線	5.4	1972	52	R4	Ⅱ					点検					点検						
駒止線4号橋	その他	大芦駒止線	4.3	1972	52	R4	Ⅱ					点検					点検						
駒止線3号橋	その他	大芦駒止線	4.3	1972	52	R4	Ⅱ					点検					点検						
駒止線7号橋	その他	大芦駒止線	10.4	1972	52	R4	Ⅱ					点検					点検						
和久入線1号橋	その他	野尻和久入線	4.26	1972	52	R4	Ⅱ					点検					点検						
獅子伏2号線1号橋	その他	小中津川獅子伏2号線	5.9	1972	52	R4	Ⅱ					点検					点検						
駒止線5号橋	その他	大芦駒止線	5.4	1972	52	R4	Ⅱ																
気多淵線1号橋	その他	下中津川気多淵線	4.88	1972	52	R3	Ⅱ				点検						点検						
駒止線2号橋	その他	大芦駒止線	3.1	1972	52	R4	Ⅱ					点検					点検						
駒止線1号橋	その他	大芦駒止線	3.3	1982	42	R4	Ⅱ					点検					点検						
奈良布線1号橋	2級	小野川奈良布線	5.9	1972	52	R3	I				点検						点検						
常盤橋	その他	松山川向線	50.5	1988	36	R4	I					点検					点検						
山神平橋	2級	大芦静川線	15.6	1989	35	R4	I					点検					点検						
静川線2号橋	2級	大芦静川線	3.5	1972	52	R3	I				点検						点検						
原入線7号橋	その他	両原原入線	4.3	1972	52	R3	I				点検						点検	橋台：ひび割れ補修等		1,225			
新田橋	その他	下中津川富田線	42.6	1970	54	R4	I					点検					点検						
根堀場橋	その他	両原根堀場線	16.6	1993	31	R4	I					点検					点検						
原入線8号橋	その他	両原原入線	5.6	1972	52	R4	I					点検					点検						
吉野沢橋	2級	下中津川大芦線	5.5	1982	42	R4	I					点検					点検						
延命寺橋	その他	喰丸延命寺2号線	23.1	1970	54	R4	I					点検					点検						
細越線1号橋	その他	野尻細越線	5.82	1972	52	R4	I					点検					点検						
大向橋	その他	大芦大向2号線	22.9	1993	31	R4	I					点検					点検						
沢口橋	その他	中向山1号線	47.5	1964	60	R4	I					点検					点検						
伊勢前橋	その他	大芦大向1号線	20.45	1984	40	R4	I					点検					点検						
田島線1号橋	その他	大芦田島線	6.45	1970	54	R4	I					点検					点検						
田島線3号橋	その他	大芦田島線	8.5	1972	52	R4	I					点検					点検						
並松山線1号橋	その他	大芦並松山線	6.64	1972	52	R4	I					点検					点検						
畑沢橋	その他	大芦静川3号線	8.4	1981	43	R4	I					点検					点検						
上盆1号橋	その他	小野川上盆線	16.5	1996	28	R4	I				伸縮装置：取替(始端側)等	点検					点検			2,270			
川下橋	その他	大芦富田線	28.5	1988	36	R4	I					点検					点検						
岩下橋	その他	小野川小峠線	17.1	1982	42	R4	I					点検					点検						
横出線1号橋	その他	小中津川横出線	8.04	2001	23	R4	I					点検					点検						
田ノ口線2号橋	その他	小中津川田ノ口線	6.7	1972	52	R4	I					点検					点検						
富田線3号橋	その他	下中津川富田線	6.3	1972	52	R4	I					点検					点検						
畑沢2号橋	その他	大芦静川4号線	5.8	1972	52	R4	I				伸縮装置：取替(始端側)等	点検					点検			2,697			
山崎橋	その他	大芦山崎中組線	11.6	1982	42	R4	I					点検					点検						
横出線2号橋	その他	小中津川横出線	7.39	1972	52	R4	I					点検					点検						
木屋新田線2号橋	その他	大芦木屋新田線	2.15	1984	40	R4	I					点検					点検						
阿久戸3号線2号橋	その他	下中津川阿久戸3号線	2.37	1972	52	R3	I					点検					点検						
廻戸沢線1号橋	その他	下中津川廻戸沢線	3.8	1972	52	R3	I					点検					点検			2,111			
阿久戸3号線1号橋	その他	下中津川阿久戸3号線	2.3	1972	52	R3	I					点検					点検						
日落沢橋	その他	両原原入線	12	1991	33	R4	I					点検					点検						
貸安2号線1号橋	その他	中向・貸安2号線	2.2	1972	52	R3	I					点検					点検						
合 計 (千円)								12,901	29,863	29,458	31,578	29,850	28,310	29,636	29,468	29,840	26,848						

※1：費用は工事費のみを計上しているため、点検費・設計費については別途計上すること。

※2：工事費は概算であるため、工事発注の際は別途積算すること。

優先順位一覧 制約0.30億円 昭和村

■:健全度E(5)	■:健全度B(2)
■:健全度D(4)	■:健全度A(1)
■:健全度C(3)	

番号	橋梁名	諸元								重要度評価指標							総合評価指標				部材健全度		優先順位指標 (A+100-B)	優先順位	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳										余寿命 (年)	今後50年補修費用			橋梁名		
		橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急輸送路	道路等級	緊急輸送路	橋長	車道幅員	道路区分	バス路線	交差条件	重要度合計 (A)	耐荷性	災害抵抗性	走行安全性	平均 (B)	部材種別					健全度 ランク	緊急輸送路	道路区分	バス路線	該当数	評価①	交差条件	評価②	橋長5m未満	カルバート 特異形式		評価③	今後5年 (百万円)	残り (百万円)		合計 (百万円)	
26	日影橋	17.30	1	PC橋	プレテンT桁	3.00	1978	45	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	25.0	70.0	85.0	60.0	主部材	D(4)	50.0	1	7	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	12.9	30.4	43.3	日影橋		
29	八反田橋	16.10	1	PC橋	プレテンT桁	4.00	1984	39	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	20.0	45.0	85.0	50.0	主部材	D(4)	60.0	2	7	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	50以上	19.1	33.5	52.6	八反田橋		
74	おいと橋	12.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1965	58	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	0.0	0.0	15.0	5.0	床版	D(4)	100.0	3	7	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	41	47.1	88.9	136.1	おいと橋		
75	三階橋	14.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1964	59	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	5.0	0.0	40.0	15.0	下部工	D(4)	90.0	4	7	B	-	-	-	0	C	-	-	-	B	40	11.8	40.1	51.9	三階橋		
43	富田線4号橋	2.40	1	RC橋	RC溝橋(BOXカルバート)	3.60	1972	51	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	55.0	15.0	50.0	40.0	下部工	D(4)	65.0	5	8	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	4	15.2	0.0	15.2	富田線4号橋	
1	不動橋	18.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	7.00	1978	45	第1次補修路線	1級	10	5	10	10	10	0	45	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	96.7	6	9	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	50.4	50.4	不動橋	
3	矢ノ原下橋	31.20	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1970	53	第1次補修路線	2級	10	5	5	5	0	0	25	15.0	45.0	40.0	33.3	主部材	C(3)	91.7	7	10	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	25.7	25.7	矢ノ原下橋	
4	下平橋	48.80	2	PC橋	プレテンT桁	6.75	1985	38	第1次補修路線	2級	10	5	10	5	0	0	30	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	91.7	8	10	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	157.0	157.0	下平橋	
2	堂の下橋	24.20	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.50	1970	53	第1次補修路線	2級	10	5	5	5	0	0	25	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	86.7	9	10	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	22.2	22.2	堂の下橋	
31	大岐橋	18.90	1	PC橋	プレテンT桁	7.13	1994	29	第1次補修路線	1級	10	5	10	10	0	0	35	50.0	35.0	70.0	51.7	下部工	C(3)	83.3	10	10	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	73.8	73.8	大岐橋	
59	博士橋	8.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1966	57	第1次補修路線	その他	10	0	5	0	0	0	15	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	78.3	11	10	A	○	-	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	14.6	0.5	15.1	博士橋	
21	阿久戸橋	43.80	2	H型鋼	H形鋼(不明)	2.50	1971	52	-	その他	0	5	0	0	0	0	5	15.0	30.0	40.0	28.3	主部材	C(3)	76.7	12	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	131.4	131.4	阿久戸橋	
54	木賊平橋	14.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1972	51	第1次補修路線	その他	10	0	5	0	0	0	15	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	76.7	13	10	A	○	-	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	97.7	97.7	木賊平橋	
48	柳沢線3号橋	8.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.50	1972	51	第1次補修路線	1級	10	0	5	10	0	0	25	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	76.7	14	10	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	82.9	82.9	柳沢線3号橋	
49	柳沢線4号橋	8.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1972	51	第1次補修路線	1級	10	0	5	10	0	0	25	50.0	35.0	70.0	51.7	下部工	C(3)	73.3	15	10	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	5.8	13.2	19.0	柳沢線4号橋	
8	宮前橋	42.66	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.31	1972	51	第1次補修路線	その他	10	5	5	0	0	0	20	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	71.7	16	10	A	○	-	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	269.8	269.8	宮前橋	
46	柳沢線1号橋	6.60	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.07	1972	51	第1次補修路線	1級	10	0	5	10	0	0	25	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	65.0	17	10	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	11.1	11.1	柳沢線1号橋	
53	原入線3号橋	2.50	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.26	1972	51	第1次補修路線	その他	10	0	5	0	0	0	15	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	65.0	18	10	A	○	-	-	1	B	-	-	-	○	-	C	50以上	0.0	14.7	14.7	原入線3号橋
10	中島橋	23.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1970	53	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	30.0	50.0	65.0	48.3	主部材	C(3)	61.7	19	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	中島橋	
68	大芦線2号橋	2.80	1	RC橋	RC床版橋(その他)	8.00	1972	51	第1次補修路線	2級	10	0	10	5	0	0	25	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	60.0	20	10	A	○	○	-	2	A	-	-	-	○	-	C	50以上	0.0	25.4	25.4	大芦線2号橋
16	正法寺橋	23.46	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1971	52	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	35.0	75.0	65.0	58.3	主部材	C(3)	51.7	21	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	正法寺橋	
55	原入線5号橋	4.90	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1972	51	第1次補修路線	その他	10	0	5	0	0	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	22	10	A	○	-	-	1	B	-	-	-	○	-	C	50以上	0.0	14.3	14.3	原入線5号橋
47	柳沢線2号橋	7.00	1	RC橋	RC床版橋(その他)	4.00	1972	51	第1次補修路線	1級	10	0	5	10	0	0	25	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	45.0	23	10	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.0	12.0	12.0	柳沢線2号橋	
56	原入線6号橋	5.50	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.90	1972	51	第1次補修路線	その他	10	0	5	0	0	0	15																										

優先順位一覧 制約0.30億円 昭和村

■:健全度E(5)

■:健全度D(4)

■:健全度C(3)

■:健全度B(2)

■:健全度A(1)

番号	橋梁名	諸元								重要度評価指標							総合評価指標				部材健全度		優先 順位指標 (A+100-B)	優先 順位	優先 順位 区分	管理 区分	管理区分内訳												余寿命 (年)	今後50年補修費用			橋梁名
		橋長 (m)	径間 数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工 年	経過 年	緊急 輸送路	道路 等級	緊急 輸送路	橋長	車道 幅員	道路 区分	バス 路線	交差 条件	重要度 合計 (A)	耐荷性	災害 抵抗性	走行 安全性	平均 (B)	部材 種別					健全度 ランク	緊急 輸送路	道路 区分	バス 路線	該当 数	評価 ①	交差 条件	評価 ②	橋長 5m未満	カルバート 特異形式	評価 ③	今後5年 (百万円)		残り (百万円)	合計 (百万円)		
28	岩下橋	17.10	1	PC橋	プレテンT桁	3.60	1982	41	-	その他	0	5	5	0	0	0	10	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	23.3	77	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	岩下橋	
44	横出線1号橋	8.04	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.60	2001	22	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	18.3	78	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	横出線1号橋	
50	田ノ口線2号橋	6.70	1	RC橋	RC床版橋(その他)	5.61	1972	51	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	79	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	48	0.0	0.0	0.0	田ノ口線2号橋	
42	富田線3号橋	6.30	1	PC橋	プレテン床版	4.07	1972	51	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	80	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	48	0.0	0.0	0.0	富田線3号橋	
89	畑沢2号橋	5.80	1	RC橋	RC床版橋(その他)	2.10	1972	51	-	その他	0	0	0	0	0	0	0	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	15.0	81	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	48	2.7	4.8	7.5	畑沢2号橋	
88	山崎橋	11.60	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	1982	41	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	82	経	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	山崎橋	
45	横出線2号橋	7.39	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	3.60	1972	51	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	83	経	C	-	-	-	0	C	-	-	-	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0	横出線2号橋	
71	木屋新田線2号橋	2.15	1	RC橋	RC床版橋(その他)	3.02	1984	39	-	その他	0	0	5	0	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	84	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	木屋新田線2号橋	
40	阿久戸3号線2号橋	2.37	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	6.20	1972	51	-	その他	0	0	10	0	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	85	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	○	C	50以上	0.0	0.0	0.0	阿久戸3号線2号橋	
38	廻戸沢線1号橋	3.80	1	RC橋	RC床版橋(その他)	2.00	1972	51	-	その他	0	0	0	0	0	0	0	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	15.0	86	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	2.1	0.0	2.1	廻戸沢線1号橋	
39	阿久戸3号線1号橋	2.30	2	RC橋	RC床版橋(その他)	3.00	1972	51	-	その他	0	0	0	0	0	0	0	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	10.0	87	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	阿久戸3号線1号橋	
52	日落沢橋	12.00	1	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1991	32	第1次補修路線	その他	10	0	5	0	0	0	15	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	15.0	88	経	A	○	-	-	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0	日落沢橋
63	貸安2号線1号橋	2.20	1	RC橋	RC床版橋(その他)	2.49	1972	51		その他	0	0	0	0	0	0	0	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	0.0	89	経	C	-	-	-	0	C	-	-	○	-	C	50以上	0.0	0.0	0.0	貸安2号線1号橋	

※1:費用は工事費のみを計上しているため、点検費・設計費については別途計上すること。
※2:工事費は概算であるため、工事発注の際は別途積算すること。